

## 特集1

患者さんと医療者の意向が異なる時のコミュニケーション技法  
「LEAP」

| 八重樫穂高 (山梨県立北病院・医師)、新津功務 (山梨県立北病院・看護師)

## 特集2

統合失調症から自閉症へ  
ロビンソン・クルーソーは無人島で  
誰に最初に出会うのか| 千葉雅也 (立命館大学：哲学)、國分功一郎 (東京工業大学：哲学)、村上靖彦 (大阪大学：哲学)、  
熊谷晋一郎 (東京大学：当事者研究)、松本卓也 (京都大学：精神病理学)

## 新連載

リレーで叫ぶ。  
外来看護は大事だ。「ガオー！」  
◎高橋政代、コレット美喜、橋本憲明、北恵都子

## レポート

認知症サポート活動「RUN伴」  
走る精神科ナースたち  
◎渡邊貴史 (南知多病院)

## レポート

アートと精神の懸け橋  
「Air Tunnel (エア トンネル)」  
◎大崎晴地 (美術家)

## 編集後記

▶琵琶湖病院に取材に行かせていただいた時は、桜が満開の季節でまだ肌寒かったことを思い出します。取材中、村上純一さんがアレンジしてくださったおかげで、たくさんのミーティングに同席させていただきました。そのなかで聞いたオープンダイアログに対する率直な疑問や思いが、本特集のQ&Aやインタビューに活かることとなりました（やっぱり現場に行くって大事ですね）。▶本特集から感じてほしいものは多々ありますけれども、その1つは、怒りや悲しみを感じながら働いていた村上さんが、「オープンダイアログを実践するようになってから“自己信頼”ができるようになった」と振り返るくだりです。1人1人が悲しみや怒りから抜けていけるような働き方ができたら、精神科病院は全く違う風景になると思います。▶新年号は「LEAP」特集。ものすごく簡略に言うと、「病識を得させようとするよりも、治療がうまく進むほうが優先じゃない？」というのが1つのテーマになります。▶次年も新連載ほか、たくさんのチャレンジ企画を盛り込んで精神看護を盛り上げていきたいと思っています。振込用紙で手続きされている方は、どうぞ忘れずに継続のお申込みを。あるいは最終ページのFAX申込書でも。2020年もますますのご愛顧を。[石川]

\*予定ですので、著者、内容含め変更になる場合があります。

## 【今月号の表紙】 full of curiosity (好奇心がいっぱい)

精神看護 第22巻第6号 2019年11月15日発行(隔月刊) 発行：株式会社医学書院 代表者：金原俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23  
Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo ©2019, Printed in Japan 販売・PR部：☎03-3817-5659  
「精神看護」編集室：☎03-3817-5769 FAX03-5804-0485 担当：石川・伊藤 E-mail: seikan@igaku-shoin.co.jp  
本文・表紙デザイン：高見清史 (view from above) 表紙・目次写真：齋藤陽道 印刷・製本：アイワード  
1部定価：本体1,400円＋税  
2019年年間購読料(送料弊社負担、年間6冊)：本体7,080円＋税(冊子版)／本体10,080円＋税(冊子＋電子版/個人)／本体7,080円＋税(電子版/個人)

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【COPY】(出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088、FAX03-5244-5089、  
info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

\*「精神看護」は、株式会社医学書院の登録商標です。